

NEIA NEWS

令和3年1月29日発行

編集・発行：一般社団法人 新潟県電子機械工業会

〒940-2127 長岡市新産4丁目1番地9

会員企業の受賞のご紹介です。

株式会社 WELCON（代表取締役社長 鈴木 裕 様）

県の経済、社会、文化の発展等に大きな功績のあった方々を表彰する令和2年度県知事表彰が昨年11月に発表され、当会会員企業である株式会社 WELCON 様が技術賞を受賞しました。

受賞対象となったのは、「拡散接合技術による微細構造物の製造に向けた研究開発」です。同社の鈴木裕代表取締役社長は、20年以上にわたって研究を続け、「考察と実証」を蓄積してきました。この技術は、人類全体の共通目標である SDGs やカーボンニュートラルの着実な実現を目指す上でも必要不可欠なものです。

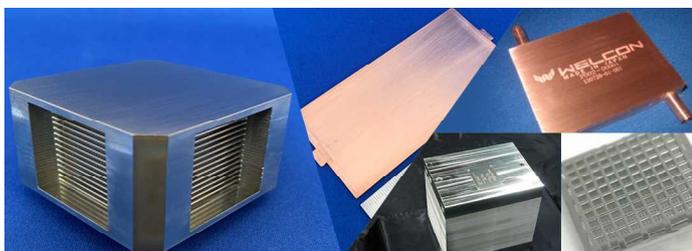
同社は、固相拡散接合*注1 という製法によって、マイクロチャンネル（微細加工技術などを使って加工した狭隘な流路）構造をもった流体デバイス、複雑な微細三次元構造体を製作しています。

製品の例を挙げると、スーパーコンピューターのヒートシンクや、水素ステーション向け熱交換器などがあります。他にも、高効率なガスマキサーやマイクロリアクターなど多様なラインナップがありますが、共通するのは、熱交換性能を落とさず、既存品より小型で軽量であること、システム全体として使用する冷媒量の削減に貢献していること、また、熱交換効率性が高く、反応時間の短縮化に寄与していることです。

鈴木社長さんは、事業方針に M3 思想（ミニマムサイズ、ミニマムエネルギー、ミニチュアリゼーション*注2）でブランドを確立し、拡散接合技術のトップメーカーになることを掲げています。同社は、総勢約70名のスタッフを有していますが、年2回、それぞれ2日間にわたって会社の目標、それを実現するのに必要な部署の目標、そしてその基になるスタッフ一人一人の到達目標を確認する場を設けています。

こうしてすべてのスタッフのベクトルを一致させ、日々技術力の一層の向上に努めることによって、接合装置の内製化による他社との差別化をはじめ、自動化 FA により均質な高度製品の量産を可能にするなど、めざましい躍進を続けています。

【製品の例】同社の HP から



*注1 「固相拡散接合」

真空又は不活性ガス雰囲気中において加熱・加圧することで、接合界面での原子の移動を促し、材料を溶かさず、個体のままで接合することができます。このことにより、薄板の積層接合が可能となったり、母材並みの接合力が得られます。

*注2 「ミニチュアリゼーション」 微細構造で新機能を追求すること

(お知らせ)

(株)WELCON 様のご厚意により、

拡散接合技術とその応用についての技術講演会を NEIA 主催で開催します。

開催時期は、今年初夏を予定しています。

詳しくは、後日、会員あてメール、当会の HP でお知らせします。

最近の活動事例

NEIA活性化事業のうち、参加希望を募って11月と12月に開催した2つの催しについて、概要をお知らせします。

なお、COVID-19感染防止対策を適切に講じて実施しておりますので、会員の皆様の今後のご参加をお待ちしています。

新技術研究会

令和2年11月24日午後、当会会員企業のTDKラムダ(株)様のご協力により、同社 長岡テクニカルセンターを視察しました。

参加した方々から、内容について高い評価の声が多数ありました。

理由は、TDKラムダ様の担当者が、率直かつ丁寧な説明をしてくださったことです。

そもそものロボット導入の思想から、生産技術と設計の連携に至るまでの取組や、具体的な苦労話なども率直にお話しくださいました。

また、同行いただいた県工業技術総合研究所のロボットに造詣の深い専門家からは、適切な解説を加えていただきました。



大変好評のうちに終了した視察会でしたが、参加者の皆様からいただいたアンケート結果（以下の通りです）では、圧倒的に、別の事例も見たい、というご希望でした。異なる特長の導入事例等を調整しておりますので、後日、ご案内いたします。

【設 問】 次回以降の活動について、希望する内容を上位3つまで選んで回答欄に記入してください。

- ① 他のロボット導入済み企業の見学
- ② ロボットメーカーによる説明会・デモンストレーション
- ③ 大学・研究機関等の専門家による講演など基礎的な研修
- ④ 公的な導入支援制度（補助金や税制優遇など）の研修
- ⑤ 導入後の運用担当者などの人材育成に向けた研修
- ⑥ その他

| 第1順位 | 第2順位 | 第3順位 |
|------|------|------|
| 9名 | 1名 | |
| 2名 | 2名 | 2名 |
| | | 1名 |
| | 2名 | 3名 |
| | 5名 | 3名 |
| | 1名 | |

人財育成研究会

令和2年12月22日午後、人事担当者を中心にした研修の第1回ミーティングを行いました。テーマは、「人事評価制度（MBO）」で、活発な意見交換がなされました。

今後、労働力人口が減少する中で、適切なワークライフバランスの確保を求める社会的要請も一層高まり、企業にとって人材育成は従来に増して大きな課題となっています。

こうした背景を踏まえ、今年度から人材や組織の活性化に向けた「新たな情報交換の場」を設置しました。

参加者全員が率直に意見やアイデアを出しつつも、議論の目的などの認識を共有し、一定のゴールに到達できるように運営の専門家（ファシリテーター）が進行役を務めます。



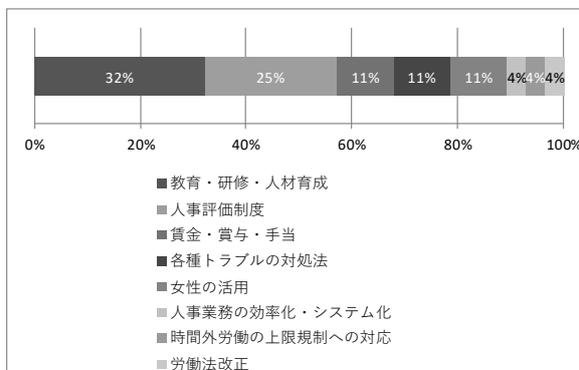
「人財育成研究会」の活動開始に先立って、会員企業の総務人事担当者様などを対象にして、人事管理上の課題等についてのアンケートを実施しました（R2.8月下旬から9月中旬）。

以下に、その回答の一部をコメントと併せてお示ししていますが、企業の多くが様々な形で人事評価制度を導入していますが、それぞれが課題を抱えています。

関心が高い分野は、（複数回答）

1. 教育・研修・人材育成
2. 人事評価制度

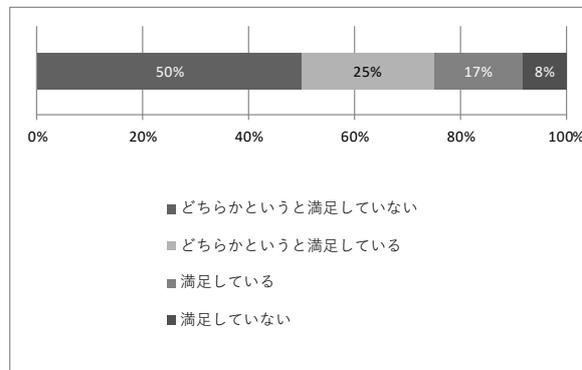
社員教育・研修や、社員自らがモチベーションを高めるための人事評価制度(自己目標管理型のMBO評価など)への関心が高い。



現在の人事評価制度についての満足度は、

1. どちらかという満足していない
2. どちらかという満足している
3. 満足している

「どちらかという満足していない」 + 「満足していない」で60%近くになる。制度あるいはその運用の改善余地が大きいことの現れと見られる。



3月までに第2回ミーティングを開催予定です。後日、お知らせします。

NEIA杯ゴルフ大会を開催しました！

秋晴れの中、令和2年11月14日に、恒例の親善ゴルフ大会を新発田市のフォレストカントリー倶楽部にて開催しました。

木村会長、渡部 前会長をはじめ、会員企業等のOBでもある3名の個人賛助会員の方々など計10名が参加し、熱戦を展開しました。

優勝（及びベストスコア）は、吉原 誠さん（NEIA副会長）、準優勝は吉野 孝也さん（個人賛助会員、NEIA元専務理事）でした。



ゴルフ大会は、令和3年度も開催予定です。

開催の詳細が決まりましたらご案内しますので、ご参加をお待ちしております。

◇◇ 年度内の主な行事・日程 ◇◇

2月19日（金）令和2年度 第2回「職場を元気にする女性の会」

午後1時30分～ Web方式のセミナー

（講師）

（株）東京ロストワックス工業 代表取締役社長 内堀 博 様

にいがた土木女子会議 代表 瀬戸民枝 様

（新潟県糸魚川地域振興局 地域整備部長）

* 申込〆切 2月12日（金）

3月11日（木）・12日（金）ISO 14001 内部環境監査員養成セミナー

会場：新潟県健康づくり・スポーツ医科学センター

（新潟市中央区 デンカビッグスワンスタジアム 内）

* 申込〆切 2月18日（木）

COVID-19感染対策を十分に配慮して実施しております。

皆様のご参加をお待ちしています。”

～～編集後記～～

11月27日にWeb方式で、『誰でも分かる半導体と製造業のセミナー』を開催しました（当会主催、（株）松浦機械製作所様（本社：福井市）のご協力）。

セミナーでは、講師から、大きな需要の波が半導体市場に到来しつつあることを、わかりやすい事例を挙げて説明していただきましたが、その『予言』が少しばかり「せっかち」に現実になったが如く、連日、『半導体不足で自動車の生産調整が世界的に拡大』といった見出しが新聞・TVから目に入ってきます。

当会会員の中にも、半導体製造に関わっている企業が多数あり、生産増強に向けた大きな投資のニュースも報じられております。半導体だけでなく、より裾野が広い成長エンジンとなることが期待されている「カーボンニュートラル」関連分野においても、今後、大きなビジネスチャンスが徐々に現れてきそうです。

NEIA事務局としても、引き続き、会員の皆様のビジネスチャンス獲得に貢献できるように、情報の収集と提供に努めてまいります。（高橋 記）